



The Port of Goa (Linschoten, *the Itinerario*, 1598)

**A Study and Catalogue of Documents in Documentos Remetidos da
Índia ou Livro das Monções (AMC) vol.1-vol.30**

ポルトガル・トルレ・ド・トンボ国立公文書館所蔵

『モンスーン文書』の研究と目録 (vol.1-vol.30)

東京大学史料編纂所研究成果報告書 2018-5

科学研究費補助金 基盤研究 (S) 課題番号 26220402 代表者 保谷徹
マルチアーカイヴァル的手法による在外日本関係史料の調査と研究資源化の研究

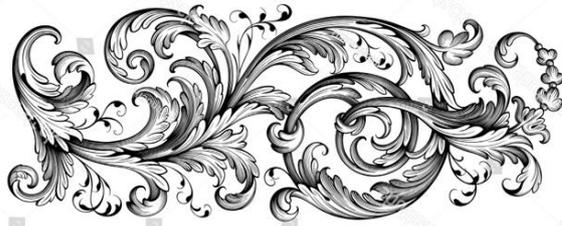
2014年度～2018年度

研究分担者 岡 美穂子 (東京大学史料編纂所)

Edited by Mihoko Oka, Historiographical Institute

The University of Tokyo

2019



結局のところ、ポルトガルはアジアにおいて、ヘゲモニー国家とはなり得なかった。

これは、世界史研究者が近年共有している理解であろう。しかしながら、ポルトガルの領土的支配やそのネットワークがかなり限定的であったとしても、彼等の文書通信システムは、「ヘゲモニー」を築いたとされるオランダやイギリスと比較して、決して劣るものではない。それを雄弁に語るのが、ここで紹介する『モンスーン文書』と呼ばれるエスタード・ダ・インディア（インド領国）とポルトガル本国間の、およそ 400 年にわたる通信記録である。

